

スポーツ・文化・観光施策についての提言（新旧対照表）（参考資料）

平成30年度提言（案）[各県意見を踏まえた案]	平成29年提言	備考欄
<p>前文</p> <p>スポーツや文化は、人に夢や感動を与え、地域への誇りと愛着を高める。地方には、充実したスポーツ環境、豊かな芸術文化、伝統文化や文化財、そしてそれらを守り育む人の絆といった、あまたの「宝」が存在する。</p> <p>観光もまた、癒やしや感動、知識・見聞を与え、地域に人を呼び込む。観光関連産業は、他産業に広く影響を及ぼす地域経済の主要な担い手であり、地方創生・日本成長の切り札である。</p> <p><u>昨年には、訪日外国人旅行者が2,000万人を超えた。国においても、スポーツ・文化・観光の融合を象徴する東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会やその後を見据えた、スポーツの成長産業化や文化芸術資源を活用したまちづくり、ソフト・ハード両面での観光客受入環境の整備などの施策が次々と打ち出されており、こうした対応を評価するとともに、地方においても、2020年に向けて取組を加速していきたい。</u></p> <p><u>一方で、本格的な人口減少社会を迎え、地方は、少子高齢化の進行や若者の流出など、厳しい現実と直面している。また、東日本大震災や熊本地震からの復興の取り組みが続いている中であっては、それぞれが持つ「宝」を磨き、スポーツ・文化・観光の「人と人、心と心を結ぶ力」を最大限に生かしながら、互いの連携のもと、世界の活力を取り込み、個性と魅力にあふれた地域をつくり、未来を切り拓いていかねばならない。</u></p>	<p>前文</p> <p>スポーツや文化は、人に夢や感動を与え、地域への誇りと愛着を高める。地方には、充実したスポーツ環境、豊かな芸術文化、伝統文化や文化財、そしてそれらを守り育む人の絆といった、あまたの「宝」が存在する。</p> <p>観光もまた、癒やしや感動、知識・見聞を与え、地域に人を呼び込む。観光関連産業は、他産業に広く影響を及ぼす地域経済の主要な担い手であり、地方創生・日本成長の切り札である。</p> <p>本格的な人口減少社会を迎え、地方は、少子高齢化の進行や若者の流出など、厳しい現実と直面しているが、<u>持てる「宝」を磨き、スポーツ・文化・観光の力を生かし、さらにこれらの力を融合させた地方創生の動きを加速しようとしている。</u></p> <p><u>このような中、この3月には、スポーツ庁、文化庁、観光庁が包括連携協定を締結し、スポーツ・文化の資源融合による観光地域の</u></p>	<p>(追加)</p> <p>・平成29年度の状況を追加</p> <p>(変更)</p> <p>(削除)</p> <p>・平成29年度の状況を追加</p>

スポーツ・文化・観光施策についての提言（新旧対照表）（参考資料）

平成30年度提言（案）[各県意見を踏まえた案]	平成29年提言	備考欄
<p>また、<u>東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会のみならず、今後数年の内に、ラグビーワールドカップ2019TM、ワールドマスターズゲームズ2021 関西</u>など大規模な国際大会が開催される。地方も、開催に向けた気運を一層盛り上げ、大会の成功に貢献し、その効果を全国津々浦々に波及させるとともに、大会後もこうした地域のスポーツ・文化・観光資源を活用した取組を継続的に展開し、地方創生の実現へと繋げていくことを強く望んでいる。</p> <p>ついては、国においても、こうした地方の実情と取組を踏まえ、次の事項を講じるよう強く要請する。</p>	<p><u>魅力向上等に取り組み始めており、また、6月には「日本再興戦略2016」や「ニッポン一億総活躍プラン」において「スポーツの成長産業化」や「観光の基幹産業化」を打ち出したところである。</u></p> <p><u>地方は、今こそ立ち上がり、スポーツ・文化・観光の「人と人、心と心を結ぶ力」のもと互いに連携し、世界の活力を取り込み、未来を切り拓いていく覚悟である。</u></p> <p>また、<u>今後数年の内に、スポーツ・文化・観光の融合を象徴する東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会やラグビーワールドカップ2019、関西ワールドマスターズゲームズ2021</u>など大規模な国際大会が開催される。地方も、開催に向けた気運を一層盛り上げ、大会の成功に貢献し、その効果を全国津々浦々に波及させるとともに、大会後もこうした地域のスポーツ・文化・観光資源を活用した取組を継続的に展開し、地方創生の実現へと繋げていくことを強く望んでいる。</p> <p>ついては、国においても、こうした地方の実情と取組を踏まえ、次の事項を講じるよう強く要請する。</p>	<p>(削除)</p> <p>・2パラ前に統合</p> <p>(変更)</p>

スポーツ・文化・観光施策についての提言（新旧対照表）（参考資料）

平成30年度提言（案）[各県意見を踏まえた案]	平成29年提言	備考欄
<p>1 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会等の開催効果の全国への波及</p> <p>(1) 地方が国際大会に貢献するための取組支援</p> <p>地方における選手強化の取組、事前キャンプの誘致、指導者やボランティア等を含めた人材育成、障害者スポーツの推進などに対して支援を行うとともに、<u>大会後もそのレガシー（遺産）が国内全域に広がるよう、継続的な支援を講じること。</u></p> <p><u>また、聖火リレーについては、全ての都道府県が参加できるものにするるとともに、ルートの選定やランナーの人選などにあたっては、地域の意向を十分に尊重すること。</u></p> <p><u>さらに、聖火リレーと同時に各地で文化プログラムを展開し、開会式セレモニーと一体となつて、多様性に富んだ我が国の文化を一体的に発信とする場となるよう十分配慮するとともに、これらの地方の取組を一体的に支援すること。</u></p> <p>(2) 文化プログラムの成功に向けた取組支援</p> <p>東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の文化プログラムに向けては、<u>新たな宝くじの発行など一定の支援の充実が図られたところである。</u></p> <p><u>その実施に当たっては、今後も</u>地域の核となる文化施設の活性化を図るとともに、国際的な芸術祭の開催や若者を中心とした新たな文化創造、障害者の芸術文化の振興、地域に根差した特有の文化の振興、国民文化祭の新たな展開など、地方における文化芸術活動へ</p>	<p>1 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会等の開催効果の全国への波及</p> <p>(1) <u>追加種目の地方開催等</u>、地方が国際大会に貢献するための取組支援</p> <p><u>東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の追加競技・種目に提案した5競技18種目については、震災被災地をはじめ地方での開催を検討すること。</u></p> <p><u>また、</u>地方における選手強化の取組、事前キャンプの誘致、指導者やボランティアを含めた人材育成、障害者スポーツの推進などに対して支援を行うとともに、<u>大会の成功に向けた国民的気運の醸成のため、全国の都道府県が参加できる聖火リレーの実現について検討すること。</u></p> <p><u>さらに、大会後もそのレガシー（遺産）が国内全域に広がるよう、継続的な支援を講じること。</u></p> <p>(2) 文化プログラムの成功に向けた取組支援</p> <p><u>今年10月に開催される「スポーツ・文化・ワールド・フォーラム」に向け、本フォーラムの開催及びその趣旨を幅広く周知し理解を得るとともに、公式サイドイベントの充実等を図ること。</u></p> <p><u>また、</u>東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の文化プログラムにおいては、地域の核となる文化施設の活性化を図るとともに、国際的な芸術祭の開催や若者を中心とした新たな文化創造、障害者の芸術文化の振興、地域に根差した特有の文化の振興、国民</p>	<p>(削除)</p> <p>(削除)</p> <p>(削除・変更)</p> <p>・組織委の動きを反映</p> <p>(追加)</p> <p>(削除)</p> <p>(追加)</p> <p>・28要望の成果を記載</p>

スポーツ・文化・観光施策についての提言（新旧対照表）（参考資料）

平成30年度提言（案）〔各県意見を踏まえた案〕	平成29年提言	備考欄
<p><u>の支援の充実・強化</u>を図ること。</p> <p><u>また</u>、文化プログラムへの取組を一過性のイベントとしないよう、2020年以降にその成果を生かすことができるプログラム等に対する重点的支援を検討すること。</p> <p>(3)大会における多様な日本文化・地方文化等のアピール</p> <p>文化プログラムや大会開会式等において、和文化の象徴的存在である「きもの」や<u>生け花・盆栽</u>、地域の祭り、神楽やアイヌ古式舞踊などの伝統芸能をはじめとする国指定重要無形民俗文化財など、日本の伝統文化を発信する場を創設すること。</p> <p>特に各地に残されている神話・伝承・歴史的文化財について、我が国の発祥や東日本大震災や熊本地震等からの復興を世界にアピールする観点から、開会式セレモニー等に採用すること。</p> <p>また、選手村をはじめとするオリンピック関連施設に、<u>国産材によるCLTや製材品</u>等の木質素材を率先して利用し、日本が誇る「木の文化」を全世界にアピールするとともに、施設で提供される食材について、<u>広く全国の農林水産物が使用されるよう、GAP等の取得促進に向けた各地の取組を継続的に支援すること。</u></p> <p>(4)「ラグビーワールドカップ2019TM」及び「<u>ワールドマスターズゲームズ2021 関西</u>」などの開催に対する支援</p> <p>集客効果による地域経済の活性化に加え、地域文化の活性化、国際交流等に寄与する「ラグビーワールドカップ2019TM」、「<u>ワールド</u></p>	<p>文化祭の新たな展開など、地方における文化芸術活動の<u>取組に対する支援の充実・強化</u>を図ること。</p> <p><u>さらに</u>、文化プログラムへの取組を一過性のイベントとしないよう、2020年以降にその成果を生かすことができるプログラム等に対する重点的支援を検討すること。</p> <p>(3)大会における多様な日本文化・地方文化等のアピール</p> <p>文化プログラムや大会開会式等において、和文化の象徴的存在である「きもの」や、地域の祭り、神楽やアイヌ古式舞踊などの伝統芸能をはじめとする国指定重要無形民俗文化財など、日本の伝統文化を発信する場を創設すること。</p> <p>特に各地に残されている神話・伝承・歴史的文化財について、我が国の発祥や東日本大震災等からの復興を世界にアピールする観点から、開会式セレモニー等に採用すること。</p> <p>また、選手村をはじめとするオリンピック関連施設に、<u>CLT</u>等の木質素材を率先して利用し、日本が誇る「木の文化」を全世界にアピールするとともに、施設で提供される食材については、<u>安心・安全はもとより、広く全国の農林水産物が使用される基準を採用すること。</u></p> <p>(4)「ラグビーワールドカップ2019」及び「<u>関西ワールドマスターズゲームズ2021</u>」の開催に対する支援</p> <p>集客効果による地域経済の活性化に加え、地域文化の活性化、国際交流等に寄与する「ラグビーワールドカップ2019」の開催を支援</p>	<p>(変更)</p> <p>・食材の調達基準が示されたこと。認証が遅れていること。</p> <p>(変更)</p> <p>・一部文言修正、再編</p>